

## 日本語 — Japanese —

京都に留学し、既に日本語環境にいる留学生の皆さんは、日本語について相応の知識をもっていることでしょう。本学では、様々なバックグラウンドをもった多くの留学生が学んでいます。日本語の必要度についても、研究室での使用言語は英語で十分という場合もあれば、日常の日本語が必要であるという場合、更には学問分野において高度な日本語能力が求められる場合まで多様です。学習履歴も、完全初級者から、日本滞在の経験があり日常会話は理解できるという人、母国で相当な学習経験のある学部生等まで様々です。

その一方、国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センターが行った調査では、文系・理系、学部・大学院、正規生・非正規生を問わず、殆どの留学生は日本語学習が不可欠なものと意識し、自らの日本語運用能力の向上を志向しています。しかしながら、母語から離れた環境で経験する言語運用への諸制限は、時には意思伝達や情報入手にまで困難をきたし、不安やストレスの原因ともなりかねません。在学中、安心して勉学・研究活動に専念できるよう、まずは自身の日本語の得手不得手を客観的に把握し、着実にレベルアップできる授業の選択が肝心です。

全学共通科目として提供される日本語科目には、各々のニーズに対応できるように完全初級レベルから、中級、上級まで日本語能力試験（JLPT）やヨーロッパ言語参照枠（CEFR）に対応したレベルのクラスが提供され、更に各レベルでは、読む・書く・話す・聴く、の技能別のクラスも用意されています。毎週の授業回数も週1回のクラスから、ある程度集中的に取り組むことができる週4回のクラスまで様々です。但し、履修可能な科目はそれぞれの学部・専攻（コース）によって異なります。これからの大学での学習・研究活動のために現在の自分の日本語能力を把握し、将来のキャリアアップのためにどのような日本語能力の向上が必要であるかをしっかりと見極め、チャレンジングな選択をしてください。